

「小さな拠点」(多世代交流・多機能型)の 形成に向けて

Ⅲ. 今後の施策の方向

2. 政策パッケージ

(4)時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

(ア)中山間地域等における「小さな拠点」(多世代交流・多機能型)の形成

【施策の概要】

中山間地域等では、人口減少に伴い、住民の生活に必要な生活サービス機能(医療・介護、福祉、教育、買物、公共交通、物流、燃料供給等)の提供に支障が生じてきているが、サービス提供体制については、例えば福祉の分野では、高齢者福祉、障害者福祉、児童福祉など各制度に基づきサービスが縦割りで提供されており、効果的・効率的なサービス提供体制を構築する必要があるほか、地域交流・地域支え合いの拠点としての機能を強化する必要がある。そのため、**基幹となる集落に、機能・サービスを集約化し、周辺集落とのネットワークを持つ「小さな拠点」(多世代交流・多機能型)において、各種の生活支援サービスを維持**するなどにより、心豊かな地域コミュニティの形成を図る必要がある。

「小さな拠点」(多世代交流・多機能型)の形成

中山間地域等において、生活・福祉サービスを一定のエリア内に集め、周辺集落と交通ネットワーク等で結ぶ「小さな拠点」(多世代交流・多機能型)を形成し、持続可能な地域づくりを推進

地域における取組例

【施設の集約】

○廃校舎等の既存公共施設を活用して行う施設の集約・再構築、「道の駅」における地域拠点機能の強化

【交通・輸送や買物機会の確保】

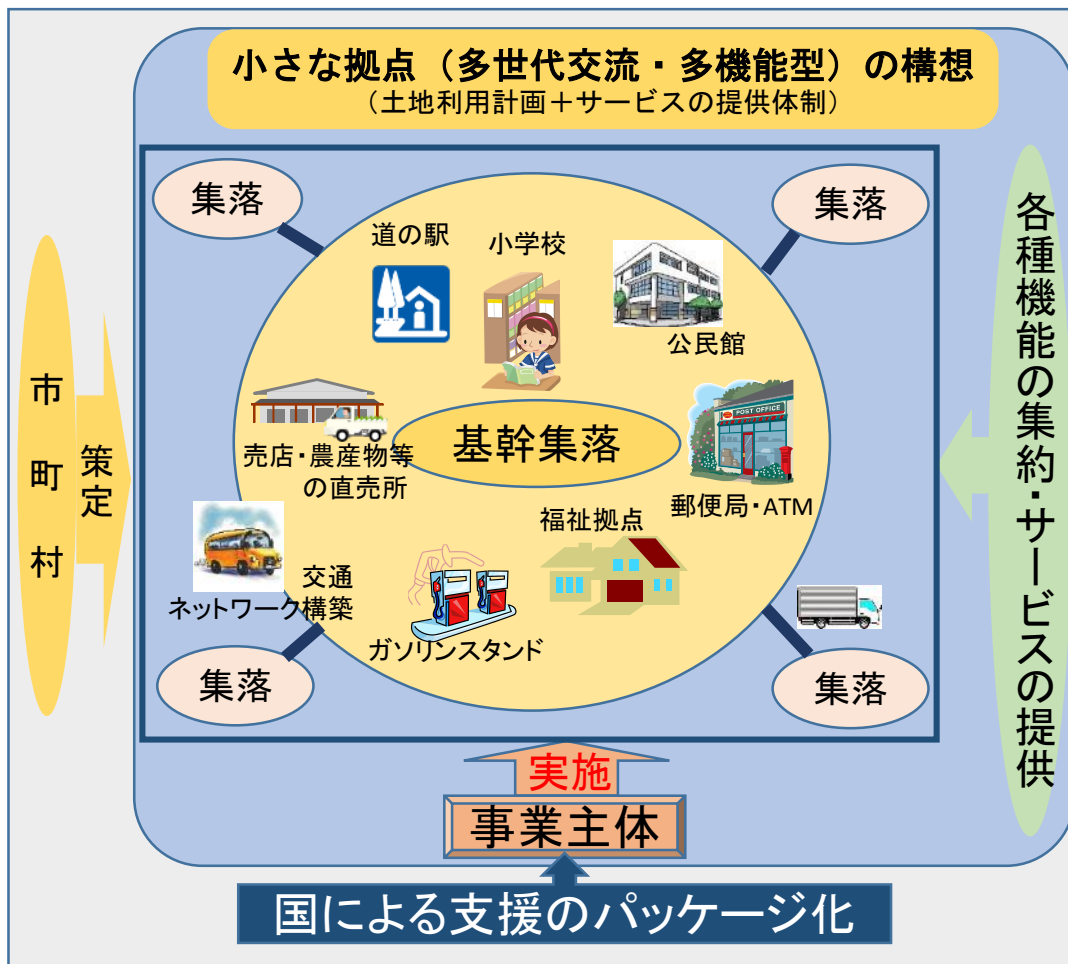
○コミュニティバスやデマンド交通等による移動手段の確保や、宅配などの買物支援サービスの維持・改善

【燃料の供給】

○地域コミュニティに必要な燃料供給維持のためサービスステーションの経営基盤強化等

【福祉拠点の整備】

○縦割りを排除し、地域交流、地域支え合いの拠点として、多世代交流・多機能型福祉拠点を整備



【地域コミュニティの活性化】

○文化・芸術、スポーツ活動、学習活動の推進等による地域コミュニティの維持・活性化

【ICTの利活用・環境整備の推進】

○ICTの利活用・環境整備の推進による地域サービス水準の維持・向上

「小さな拠点」の取組事例

みやまちょう

事例1 京都府 南丹市 美山町



Before

経緯

- ・面積のほとんどが森林で、薪炭・材木・養蚕が主産業
- ・林業の衰退の中、キノコ・山菜の栽培・加工を行うが、過疎化が進行(10182人(1955) → 5133人(2002年) → 4459人(2012年))
- ・1970年代以降、行政主導で①農林業の振興、②観光振興・都市との交流による活性化を推進(1970～2000年頃)

- ①農事組合設立、農業補助事業の活用(ほ場整備・施設整備・畜産振興等)
- ②かやぶき民家等地域資源を活かした観光振興(キャンプ場、体験施設、温泉整備)移住者の受入体制

- ・地域活性化の成果の一方、人口減少・高齢化は引き続き進展。JAの店舗(3か所)が撤退(98年)

- 70年代
農業振興
補助事業の導入
- 88年
農村アメニティコンクール
優秀賞受賞
・観光施設の整備
・移住者の増加
- 98年
JA店舗3か所撤退
住民出資会社設立、活動
- 01年
集落ごとに住民・行政による振興会を立ち上げ
この頃から中心部の平屋地区に機能を集積
・保健福祉センター(H9)
・診療所(H11)
・直売所(H14)
・道の駅(H17)
・デマンドタクシーの運行(H23)

取組

- ・JA店舗の跡に住民出資会社を立ち上げ、各種サービス(日用品の販売・農地・保全特産品開発・福祉活動等)を実施
- ・この他、旧村単位で行政・住民が協力して振興会を立ち上げ、行政代行・人材センター・高齢者見守り等を活動
- ・町の中心部に位置する平屋地区において道の駅を中心に行政窓口・店舗・診療所・福祉センター・金融等の機能を集約して「小さな拠点」を形成



拠点周辺の位置図

After

取組効果

- ・生活機能の集約・維持(医療・福祉・買物・行政窓口・金融等)
- ・住民出資会社による商店経営の継続・発展(道の駅を利用して観光客向けにも販売。売上約1.5億円(開始時の1.5倍)、利用者約12万人)
- ・移住者の増加(毎年、数名～程度受入れ)

「小さな拠点」の取組事例

事例2 高知県 四万十市 西土佐地域 大宮地区 ()



Before

- 経緯**
- ・大宮地区は農業主体の農村地域であり、主に米・野菜を生産
 - ・人口減少に伴い、1980年代に診療所・中学校が閉鎖するなどの生活・教育施設が縮小(2010年以降、保育園・小学校も閉鎖)
 - ・2005年、JA出張所(店舗)、ガソリンスタンドが閉鎖

- 取組**
- ・地区の約8割の世帯が出資して、JA店舗の機能を引き継ぐ「株式会社大宮産業」設立
 - ・住民の会社として、住民代表を経営アドバイザーにし、積極的に要望に対応
 - ・「大宮産業」はJAの施設を購入し、事業を引き継いで商店(食料品・日用雑貨等)とガソリンスタンドを経営
 - ・その他、住民の要望を受け、高齢者の見守りも兼ねた週2回の宅配サービス等を実施
 - ・公共交通として、市のデマンドバスが、市の総合支所のある西土佐地域の中心部まで運行

After

- 取組効果**
- ・生活機能の維持(商店、ガソリンスタンド、診療所、出張所、郵便局)
 - ・住民出資会社による商店経営の維持・発展(地元米の販路拡大等、売上約6200万円(開始時の1.7倍)、利用者90人/日(開始時の1.4倍))
 - ・近年3世帯(30~40代)が移住



「小さな拠点」の取組事例

高知県における「あったかふれあいセンター」の取組概要

小規模多機能支援拠点（地域福祉の拠点） あったかふれあいセンター

◆基本機能



①集い+α 概ね週5日実施
(預かる・働く・送る・交わる・学ぶ・等)

日中の居場所・見守りの場



●高齢者

- ・元気な高齢者や介護認定者の居場所
- ・介護サービスの補完
- ・生活に不安のある方や、閉じこもりがちな方の居場所

●子ども

- ・学童保育を利用していない小学生の居場所
- ・放課後、長期休暇中の居場所

●障害者

- ・日中の居場所・社会参加や就労支援の場

●その他

- ・引きこもりがちな若者の居場所
- ・乳幼児を連れた母親の居場所

②訪問・相談・つなぎ
概ね週2日実施

地域包括支援ネットワークシステムの構築

- ・住民参加による地域での見守り・早期発見、つなぎのネットワーク
- ・住民からの相談対応
- ・緊急時の対応の仕組みづくり など

③生活支援
ニーズに合わせて適宜実施

新たな支え合いの仕組みづくり

- ・生活支援サービスや支え合いの仕組みづくりとコーディネート
- ・地域活動(介護予防やサロン活動等)のサポート
- ・ボランティアの人材育成 など

◆拡充機能

地域のニーズに応じて機能を拡充

泊り・移動手段の確保・配食

老人クラブ

運営委員会

民生委員・児童委員

介護事業所

保健機関

地域住民

小地域

ボランティア

専門職種

行政機関

地域包括支援ネットワークシステム

医療機関

高知型福祉の実現に向けて
小規模多機能支援拠点（地域福祉の拠点）
「あったかふれあいセンター」の整備を促進

フォーマルな福祉サービスでは担えない「制度の隙間」的ニーズに応えるため高知県独自に実施

計200ヶ所

平成26年度(26年4月現在)
28市町村、38ヶ所、162サテライト



いろんな機能が
あると助かるね!



地域コミュニティ活動の活性化や
地域の支え合いの再構築で、
いざという時も安全・安心な
地域づくりを推進!

「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を踏まえた取組

(4)-(ア)-①

中山間地域等において、生活・福祉サービスを一定のエリア内に集め、周辺集落と交通ネットワーク等で結ぶ「小さな拠点」(多世代交流・多機能型)を形成し、持続可能な地域づくりを推進する。

(一部、略) 今後、「**小さな拠点**」(多世代交流・多機能型)に関する仕組みの検討や市町村における拠点整備の構想の策定を進めつつ、「**小さな拠点**」(多世代交流・多機能型)のモデルづくりを実施 (以下、略)

平成26年12月27日閣議決定資料より抜粋



地域再生法の改正の方向性

【基幹集落への機能・サービスの集約】

・市町村が複数集落を含む区域で「小さな拠点」形成のための土地利用計画を作成した場合、基幹となる集落への生活・福祉サービス施設等の立地等のための措置

【生活サービスの担い手の確保】

・生活支援サービスの提供を社会福祉法人、商工会等の多様な事業主体が活動しやすくするための措置



【「地域住民生活等緊急支援のための交付金」〈地方創生先行型〉による財政支援】

〈概要〉

○地方公共団体(都道府県及び市町村)による地方版総合戦略の早期かつ有効な策定と、これに関する優良施策等の実施に対し、国が支援。

【小さな拠点に関する用途例】

○多世代交流・多機能型福祉拠点

○小学校や旧役場庁舎の周辺に日常生活を支える買い物、医療等の「機能」をコンパクトに集積

○コミュニティバスやデマンド交通、宅配等の交通と情報通信によるネットワークの構築

○集落における住民が主体となって取り組む活動の支援

【「地域再生戦略交付金」による財政支援】

《H26補正 50億円》《H27 70億円》

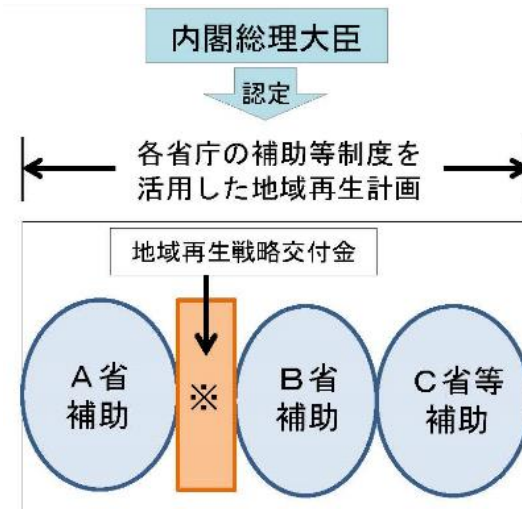
〈概要〉

○地域の創意工夫による地域の課題解決を後押しする観点から、内閣総理大臣が認定する「地域再生計画」に位置付けられた事業で、既存の補助等制度の対象事業と一体的に実施することで効果が高まるものを支援。

○主体:地方公共団体、地域再生推進法人等、民間団体(間接補助のみ)

○補助率:1/2以内、1/3以内(間接補助の場合)

計画策定支援は定額



※交付対象は、各省庁の補助制度の対象とならないもの。

集落分析は、「小さな拠点」を整備する上で基礎となるもの

○「小さな拠点」については、市町村が中心となって、主な役割を担う必要がある。

各集落の現状について分析を行った上で、中心となる集落（基幹集落）への各種機能の集約やサービスの提供体制の形成、相互ネットワークの構築を図ることが望まれる。

（集落分析項目の例）

- ・人口、世帯数
- ・高齢化率、生産年齢人口率
- ・交通、買い物、医療などの生活条件
- ・農業活動、鳥獣被害、防災体制 等

○都道府県は、市町村の取組が円滑に行われるよう、集落分析に関する情報提供などの支援を行うことが望まれる。

<参考分析例1> 島根県における中山間地域の「郷」分析について

—島根県中山間地域研究センターの取組—

<背景と経緯>

- 平成10年に島根県中山間地域研究センターに地域研究部門を設置。
- 「島根の郷づくりカルテ」を作成するため、島根県で基礎的なコミュニティ単位となっている公民館等の範囲で調査を実施することとした。
- 平成25年から調査を開始、以降、毎年、調査を実施。人口や暮らしに関するデータを収集。

<参考>

島根の郷づくりカルテの項目

- ・暮らし(医療、教育、交通等)
- ・人口(住基、国調)
- ・産業(事業所数、従業者数等)
- ・取組 など

表示方法

- ・表
- ・地図 など

※GISの導入によりマッピング可能

<住民基本台帳による人口調査の方法>

1. 対象となる「郷」の範囲を決定→島根県で基礎的なコミュニティ単位となっている「小学校・公民館区」と設定
2. 都市部を除き、218エリアを決定
3. 島根県しまね暮らし推進課と中山間地域研究センターが連名で、各市町村に住民基本台帳のデータ提供を依頼
4. 「郷」ごとにカルテを作成

<参考>

しまねの郷づくりカルテ

「人口データ」による評価

	数値	順位	評価
人口	631	148	3
世帯数	260	139	3
高齢化率	40.9	142	3
生産年齢人口率	47.2	180	2
若年齢層率	11.9	55	4
人口増減率	▲12.1	181	3
4歳以下人口比率	3.8	41	4
1,000人あたり定住必要数	1.6	71	3
20~30代女性比率	6.0	148	3
高齢者単独世帯数	67	150	3

評価合計(最大50点)

31

市町村名 **美郷町** 地区名 **吾郷**

「くらしの条件」による評価

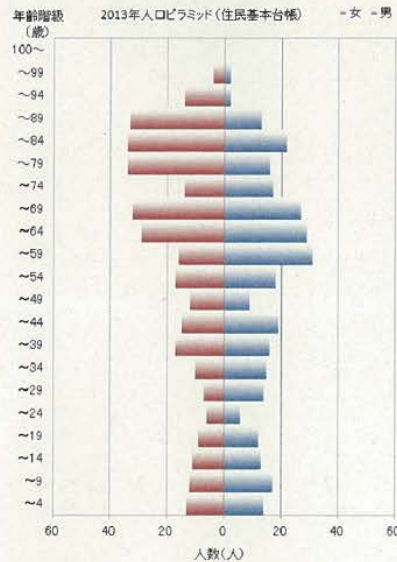
	数値	順位	標準化	評価
交通	6.5	141	48.1	3
買い物	0.0	193	39.7	2
福祉	0.0	91	44.6	2
医療	49.8	215	67.6	1
教育	55.7	159	54.0	3

評価合計(最大25点)

11

NPO	0	67	46.0	3
公民館	0	32	46.2	3
農業	51.8	127	48.5	3
ブランド	1	46	50.4	4

現行の人口ピラミッド



人口ピラミッド(住民基本台帳)

現行推移



人口推計(国勢調査)より中山間地域研究センター算出

拠点数

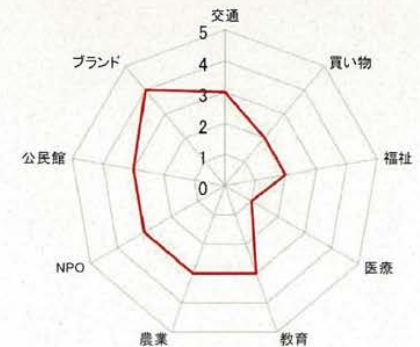
くらし

買い物	商業施設	大型店舗	スーパー	コンビニ	個人商店	NPO	
0	0	0	0	0	0	0	
医療	病院	診療所	歯科	介護施設	公民館	0	
0	0	0	0	0	0	0	
教育	高校	中学校	小学校	幼保	農家	83	
0	0	0	0	0	農業	83	
産業	全	農林漁	建設	卸・小売	教育・学習	医療・福祉	公務
25	0	5	5	1	1	1	

産業

産直市	ブランド	1
-----	------	---

くらしのレーダーチャート



2013年現在のこの地区は

お手本グループ です。

<参考分析例2>とっとり集落創造シートを活用した集落点検 —鳥取県と鳥取環境大学が連携して、集落住民が話し合うための ツールとして「とっとり集落創造シート」を開発—

【集落の今後の人口予測】

とっとり集落創造シート

市町村 伯耆町 大字 富江 集落 富江

集落 広域 生活 確認・点検 履歴

人口と世帯は集落の状況を知る基本データです。ここでは、現在の人口・世帯数のデータを基に、将来の集落の姿をシミュレーションしてみましょう。

今後の人口予測 シミュレーション

	2008年	2013年	2018年	2023年	2033年	2043年
人口	99	83	78	71	51	33
人口増減率		-16.2	-5.7	-9.1	-19.2	-18.0
世帯数	27	24				
平均世帯人口	3.7	3.5				
65歳以上人口比率	37.4	45.0	53.5	65.6	68.6	70.0
75歳以上人口比率	25.3	31.3	34.3	41.7	62.5	57.2
0~4歳人口比率	9.1	2.4	1.5	1.0	2.7	2.3
0~14歳人口比率	9.1	9.6	7.3	4.3	5.1	7.6
15~64歳人口比率	53.5	44.6	39.3	30.1	26.3	22.1

将来推計人口と高齢化率（現行推移モデル）

小・中学生数の推計（現行推移モデル）

【現在の人口を維持するためのシミュレーション】

とっとり集落創造シート

市町村 伯耆町 大字 富江 集落 富江

集落 広域 生活 確認・点検 履歴

人口と世帯は集落の状況を知る基本データです。ここでは、現在の人口・世帯数のデータを基に、将来の集落の姿をシミュレーションしてみましょう。

今後の人口予測 シミュレーション

10年後も人口を保つ

30代前半夫婦と子供一人

5年間に 2 組

出て行く人を少なくする
または
 U・ターン者を受け入れる

	2013年	2018年
人口	83	84
人口増減率	-16.2	1.5
世帯数	24	
平均世帯人口	3.5	
65歳以上人口比率	45.8	49.7
75歳以上人口比率	31.3	31.8
0~4歳人口比率	2.4	3.8
0~14歳人口比率	2.4	9.1
15~64歳人口比率	44.6	43.0

将来推計人口と高齢化率（人口増加シミュレーション）

小・中学生数の推計（人口増加シミュレーション）

【話し合いのツール：その1】
現在と20年前の生活状況の比較

 とっとり集落創造シート

市町村 伯耆町 大字 富江 集落 富江

集落	広域	生活	確認・点検	履歴
<p>生活を支える集落の現状を数値化し、生活実感を見える化してみましょう。また、現在の生活状況と20年前の生活状況を比べ、生活環境の良いところ、困りごとを整理してみましょう。</p>				
現在の状況		20年前の状況		
交通	最寄りの駅 km 集落にバス路線	交通	最寄りの駅 km 集落にバス路線	
医療	最寄りの病院 km 最寄りの診療所 km	医療	最寄りの病院 km 最寄りの診療所 km	
買い物	スーパー km 個人商店 km 金融機関 km 移動販売	買い物	スーパー km 個人商店 km 金融機関 km 移動販売	
教育	通学する小学校 km 通学する中学校 km	教育	通学する小学校 km 通学する中学校 km	
農業	農林業従事者 人 耕地面積 ha 耕作放棄地 ha 放棄面積率 %	農業	農林業従事者 人 耕地面積 ha 耕作放棄地 ha 放棄面積率 %	

【話し合いのツール：その2】
集落での取組(できていること or やってみたいこと)

 とっとり集落創造シート

市町村 伯耆町 大字 富江 集落 富江

集落	広域	生活	確認・点検	履歴
<p>地域づくりは集落の状況を知るところからはじまります。集落の状況を思い浮かべながら、下記の項目を「できている」と「やってみたい」項目にチェックしてみましょう。</p>				
<p>該当する項目のみチェックしてみましょう！</p>				
			できている	やってみたい
1.	鳥獣害対策に取り組みたい。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
2.	農地を引き継いでほしい。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
3.	特産品づくりを進めたい。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
4.	耕作放棄地を無くしたい。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
5.	地域資源を活かした観光など取り組みたい。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
6.	自分で不自由なく外出したい。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
7.	自然災害の備えを強くしたい。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
8.	空き家を利活用したい。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
9.	除雪を手伝ってほしい。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
10.	気軽に集まれる場所を作りたい。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
11.	伝統行事やそごを維持したい。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
12.	イベントなどを増やしたい。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
13.	多くの人に集落に来てほしい。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
14.	多くの人に集落を知ってもらいたい。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
15.	若い世代に住んでもらいたい。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		できている	やってみたい	
	集落の生業			
	集落の生活・環境			
	集落のつながり			